

2025年度 第104回全国高校サッカー選手権大会十勝地区予選開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 2025年度 第104回全国高校サッカー選手権大会十勝地区予選
- 3 主 催 北海道高等学校体育連盟十勝支部
- 4 共 催 (一社)十勝地区サッカー協会
- 5 主 管 北海道高等学校体育連盟十勝支部サッカー専門部
(一社)十勝地区サッカー協会第2種委員会
- 6 当 番 校 北海道芽室高等学校
〒082-0801 河西郡芽室町東めむろ1条北1丁目6-6-1
TEL 0155-62-2624 FAX 0155-62-2624
- 7 期 日 令和7年8月23日(土)、24日(日)、30日(土)
予備日 8月31日(日)、9月6日(土)
8月18日(月)13:30 監督会議(本校1階会議室)
8月23日(土)9:00 競技開始
8月24日(日)9:00 競技開始
8月30日(土)9:00 競技開始 競技終了後 閉会式
- 8 会 場 帯広の森球技場:8月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)
- 9 参 加 資 格 (1)2025年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(2)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3)選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(4)「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。
(5)2006年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし日程が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(6)チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8)部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9)①転校後6カ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。(外国人留学生もこれに準じる)。
②転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記(9)①に準じるものとする。ただし、この規定(9)②の適用は当該年度内に限るものとする。
(10)選手は、在籍する学校長及び所属地区サッカー協会長の承認を必要とする。
(11)各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とすること。(選手証とは、KICKOFF から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)
(12)外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。

(13)参加資格の特例

- ①本条(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- ②本条(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加資格を認める条件
 - ①(公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ②参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際し守るべき条件
 - ①全国高等学校サッカー選手権大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ②大会参加に際しては、責任ある教員が引率し、万一の事故の発生に備えて万全の事故対策を講じておくこと。大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

10 参加チーム数 各地区協会より北海道大会に参加できるチーム数は次による。

- (1)参加チームが15チーム未満は、1チームとする。
(ただし別途定める規定により参加チーム数に応じて合同予選の場合あり。)
- (2)参加チームが15チーム以上で25チーム未満は、2チームとする。
- (3)参加チームが25チーム以上で35チーム未満は、3チームとする。
- (4)参加チームが35チーム以上で45チーム未満は、4チームとする。
- (5)参加チームが45チーム以上の場合は5チームとする。
- (6)開催地区代表校2チーム(十勝地区1チーム、札幌地区1チーム)
- (7)今年度全国高校総体代表1チーム、高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2025 北海道参加7チーム、合わせて最大8チームに本大会の出場権を与える。
- (8)地区代表チームと合わせて29チームを下回る場合には、別途定める基準枠により、各地区の参加校枠を決定する。

11 競技規則

- (1)2025年(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2)大会参加申込みをした最大25名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交

代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、5名までの交代が認められる。

(3) 交代要員9名とスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。

(4) 交代回数の制限について

延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の80分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)

(5) 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。

①本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数および交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。

②本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳振盪に限らず)いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。

12 競技方法

(1) トーナメント方式により十勝支部代表校を決定する。

(2) 試合時間は、1回戦、2回戦は80分間(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、PK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦進出校を決定する。

(3) 準決勝、決勝戦の試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として10分間とする。勝敗が決しない場合は20分(10分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない時は、PK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦に進出するチームおよび優勝チームを決定する。

(4) 参加校数によって競技方法等のレギュレーションを変更する場合がある。

13 引率責任者 および監督

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

14 参加申込

※個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

(一社)十勝地区サッカー協会HPの2種委員会のページより選手権参加申込書(エクセルファイル)をダウンロードし、申込書とプログラム用選手名簿のニカ所に必要事項を入力の上、8月4日(月)までに下記のメールアドレスに添付ファイルで送信すること。尚、職印を押印してある申込書を監督会議に1部持参すること。

〒082-0801 河西郡芽室町東めむろ1条北1丁目6-6-1

北海道芽室高等学校当番校事務局 加藤 武志

TEL 0155-62-2624 FAX 0155-62-2624

メールアドレス takeshi-kato8@hokkaido-c.ed.jp (当番校担当アドレス)

申込締切期日 令和7年8月4日(月)

15 参加料

1チーム12,000円を監督会議の当日持参し、会議前に受付にて納入のこと。

16 組合抽選会

8月18日(月)13:30に芽室高校会議室にて開催される監督会議にて公開で実施する。

17 選手変更

登録選手の変更は、3名以内とし変更用紙に必要事項(学校長の職印のあるもの)を記入し、

8月22日(金)17:00までに、大会事務局にエクセルファイルをメールで提出し、職印を押印してある変更用紙を大会初日に提出のこと。これ以降の変更は認めない。なお、番号、ユニフォームの色の変更は認めない。

- 18 ユニフォーム (1) ユニフォームは正副2色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK用共)を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
- (2) 選手番号については、1番～25番までとする。
- (3) チームのユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
- (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
- (6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
- (7) ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- (8) 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
- (9) チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンド。それには、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければならない。なお、キャプテンは、スローガン、メッセージ、イメージおよび広告に関しては、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に一致したシンプルなアームバンドを着用しなければならない。
- (10) その他については「2025ユニフォーム規程」を遵守すること。
- 19 懲 罰 (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 規律委員会の委員長は専門委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (5) 本実施要項の記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
- 20 表 彰 (1) 優勝チーム以下第3位まで賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与し表彰する。
- ただし、複数ブロックの場合は、優勝チームと準優勝チームに賞状を授与する。
- (2) 表彰式は決勝戦終了後に行う。ただし、第3位の表彰式は準決勝終了後に行う。
- (3) 優勝チームは10月11日(土)より十勝支部、札幌支部で開催される北海道大会への出場資格を与え出場を義務付ける。(地区代表チーム数は、今年度は3チーム)
- 21 諸 会 議 監督会議 8月18日(月) 13:30芽室高校会議室 ※主将の参加はなし。
- 22 そ の 他 (1) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 登録選手は、試合ごとに選手証(写真添付)を必ず持参し、試合開始前に指定された場所でチェックを受けること。
- (3) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。尚、参加者は健康保険証を持参すること。参加生徒はスポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。

- (4) メンバー票の提出、ユニフォームの確認は、第1試合においては試合開始の45分前、第2試合以降においては前の試合のハーフタイムの時に本部にて行う。ただし、決勝においては、試合開始予定時刻の80分前に高体連十勝支部サッカー専門部および(一社)十勝地区サッカー協会第2種委員会立ち会いのもとマッチミーティングを行う。
- (5) ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の若い番号を左側とする。
- (6) 不測の事態により、競技に影響がある場合は、高体連十勝支部サッカー専門部、当番校で協議し決定する
- (7) 宿泊については大会事務局で斡旋しませんので、各学校でご都合ください。当校への問い合わせはしないこと。
- (8) 本大会出場に当たっては、各チームから1名以上の帯同審判を必ず帯同させ、その氏名を大会参加申込書に記入すること。また、各校・各チーム顧問で審判員がいない場合は、各校・各チームの責任で必ず帯同審判員を確保すること。尚、その審判員の費用は各校・各チームで負担すること。
- (9) 競技の如何を問わずチームの行為に起因して施設や用具を破壊した場合は、当該チームがその責任を負うこと。